Copyright (C) 2005 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved M-MANU200227-01

I-O DATA MOA-RZシリーズ

1 はじめにお読みください

箱の中には

□にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- □ MOドライブ（本製品/1台）

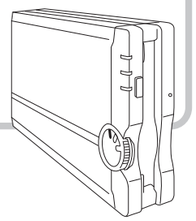
■シリアル番号（S/N）をメモします

▼ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

シリアル番号（S/N）は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

●シリアル番号（S/N）は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/

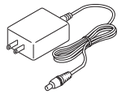
●弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/



- □ イジェクトピン（1本）
- □ 縦置き台（1個）
- □ サポートソフトCD-ROM（1枚）
- ☑ ①MOA-RZシリーズはじめにお読みください（本書/1枚）※
- □ ②MOA-RZシリーズWindows版セットアップガイド（1枚）※
- □ ③MOA-RシリーズMac OS版セットアップガイド（1枚）※
- □ ④MOA-Rシリーズ仮想ディスクを使う（1枚）※

※MOA-R シリーズと MOA-RZ シリーズは共通です。

- □ ACアダプター（1個）



- □ USBケーブル（1本）［約1m］

●箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
●イラストは実物と若干異なる場合があります。

動作環境

本製品は以下の環境でご使用になれます。

次の条件を満たす以下の対応機種

●サポートソフトインストール用のCD-ROMドライブがあること
●本製品を接続できるUSBポートがあること

※USB 2.0でご使用いただくには、USBポートおよびOSがUSB 2.0に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 1.1として動作します。

※USB 2.0インターフェイスでの動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
DOS/Vマシン※1※2※3	Windows XP/2000 Professional/Me/98（SEを含む）
Apple Macintosh	Mac OS 9.0.4～9.2.2 Mac OS X 10.1～10.4

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2 次の機種（2004年9月末現在）では、本製品をパソコン本体のUSBでは使えません。 ●東芝製 DynaBook SS PORTEGE6000、DynaBook Satellite2520シリーズ ●SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※3 本製品をUSB 1.1環境でお使いの場合、HP/COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合せください。

注意

●本製品は省電力モードには対応しておりません
本製品をサスペンド、スタンバイ、スリープなどの省電力モードへ移行する環境で使用する場合、省電力モードの設定は無効にしてお使いください。

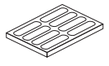
●Windows 98（SE含む）では、仮想FDモードではお使いいただけません

●より詳しい対応情報は対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

SPIS（スパイス） セキュリティツールご使用の際の注意

●「e-割符V3」、「暗号フォルダ」はWindows XP/2000のみ対応です。
●セキュリティツールで使用したパスワードの管理には十分ご注意ください。
●万が一、パスワードをお忘れになった（紛失・破損した）場合は解除できなくなります。その場合は内部のデータに関しては弊社はいっさいの責任を負いかねます。

- □ ハードウェア保証書
- □ ラバーフット（8個）［横置き用：4個］［縦置き用：4個］



「ハードウェア保証書」、「保証規定」については本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

ハードウェア仕様

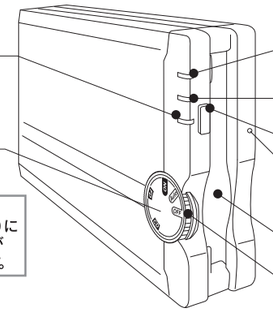
製品型番	MOA-U640RZ	MOA-U1.3RZ	MOA-U2.3RZ
インターフェイス	USB 2.0／USB 1.1対応		
使用可能MOメディア※1	128/230/540/640MB	128/230/540/640MB、1.3GB	128/230/540/640MB、1.3/2.3GB
セクタサイズ	●128/230/540MBのMOメディア：512バイト／●640MB/1.3GB/2.3GBのMOメディア：2,048バイト		
シークタイム（平均）	23ms		
MOメディア回転数	5,455rpm	5,455rpm（1.3GBメディア使用時：3,637rpm）	6,094rpm（1.3GBメディア使用時：4,094rpm、2.3GBメディア使用時：3,640rpm）※2
I/F転送レート	480Mbps（理論値）		
バッファサイズ	2Mバイト		8Mバイト
動作温度／動作湿度	+5～+35℃（パソコンの動作範囲内であること）／20～80%（結露しないこと）		
電源	DC +5.0V 2.2A		
サイズ	113.0(W)×158.4(D)×29.3(H)mm		
質量	約1,400g（ACアダプター、ケーブル含まず）		約1,500g（ACアダプター、ケーブル含まず）

※1 オーバーライトメディアを含む ※2 ZCAVモードの場合

各部の名称・機能

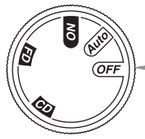
各部の名前と機能を説明します。

前面



仮想ドライブモードランプ
●仮想FDモード、仮想CDモード時……オレンジ色点灯
●MOモード時……消灯

電源・モードスイッチ



ここの位置（本製品正面側）に合わせた設定が有効になります。

USBモードランプ
●USB 2.0時……青色点灯
●USB 1.1時……消灯

アクセスランプ
●MOメディア読み書き時……緑色点灯

イジェクトボタン
これを押すと、MOディアを取り出せます。
アクセスランプ点灯中は、絶対に押さないでください。

強制イジェクトホール
MOメディアを強制的に取り出します。
通常は使わないでください。

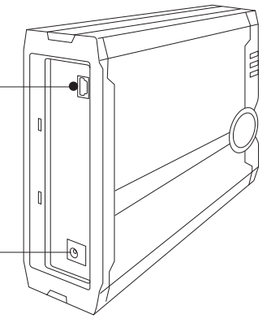
MOメディア挿入口
MOメディアを挿入します。

電源ランプ
●電源ON時……緑色点灯

ON	MOドライブ（MOモード）として動作します。（本書裏面【本製品のモード】参照）
Auto	MOモードとして動作し、パソコンに電源連動します。（下記【電源連動機能について】参照）
OFF	本製品の電源が切れます。（出荷時）
FD	仮想フロッピーディスクドライブ（仮想FDモード）として動作します。 ※Windowsのみ （本書裏面【本製品のモード】参照）
CD	仮想CD-ROMドライブ（仮想CDモードとして動作します。 ※Windowsのみ （本書裏面【本製品のモード】参照）

※各設定は、MOメディアを取り出し、かつ、パソコンから取り外した状態で設定してください。

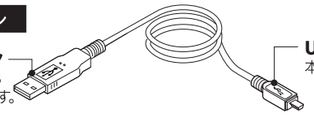
背面



USBポート
添付のUSBケーブルを接続します。

DCコネクタ
添付のACアダプタを接続します。

USBケーブル



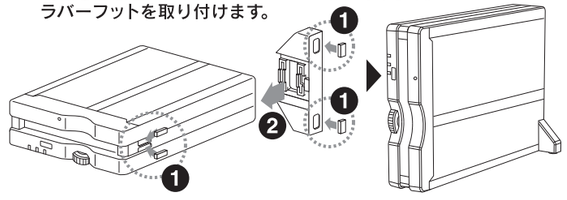
USB Aコネクタ
パソコン側のUSBポートに接続します。

USB mini-Bコネクタ
本製品のUSBポートに接続します。

縦置きでご利用になる場合

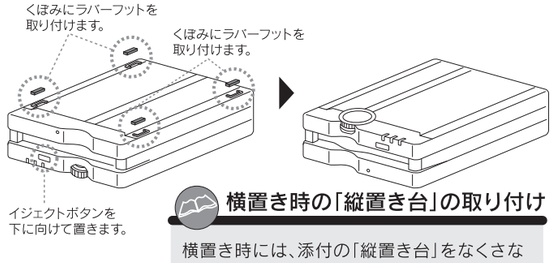
❶ 本製品底面2ヶ所と縦置き台底面2ヶ所にラバーフットを取り付けます。

❷ 縦置き台を本製品に取り付けます。



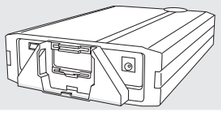
横置きでご利用になる場合

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、4個所にラバーフットを取り付けます。
取り付けた後は静かに裏返しラバーフットを下にして置いてください。



横置き時の「縦置き台」の取り付け

横置き時には、添付の「縦置き台」をなくさないよう以下のように取り付けておくこともできます。



電源連動について

本製品には、接続したパソコンに連動して電源をON/OFFにできる「電源連動機能」があります。
パソコンに接続した状態で、パソコンの電源を入れると本製品の電源がONになり、パソコンの電源を切ると本製品の電源が切れます。
「電源連動機能」を使用すると、電源のON/OFFを切り替える必要がなくなります。

設定方法

設定は、本製品背面の電源・モードスイッチを「Auto」に設定すると、「電源連動機能」が有効になります。（MOモードで動作します。）

※出荷時設定は［OFF］です。

❶ 本製品をパソコンから取り外します。
❷ 電源・モードスイッチを「Auto」に設定します。

参考

●お使いの環境によっては、パソコン上での本製品の取り外し手順を行った場合にも、電源が切れる場合があります。
●お使いの環境によっては、パソコンの電源を切っても本製品の電源が切れない場合があります。

添付ソフトについて

「MOA-RZシリーズサポートソフト」には以下のソフトウェアが収録されています。
必要に応じてインストールしてください。

※Windows XP/2000で、収録されているソフトウェアをお使いになる場合には、管理者（Administrator）権限でログオンしてください。
※MOメディアのフォーマットやインストールなどの詳細についてはCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

▼以下のソフトウェアは必ずインストールしてください。（別紙セットアップガイド［1 インストールする］参照）	
Windows 98用ドライバソフト 「MOA-FB/Rシリーズ用USBドライバ」	（Windows 98用）　Windows 98で本製品を使用するためのドライバソフトウェアです。
「MOソフトウェア」	（Windows用）　MOメディアのフォーマットやWindows XP/2000での権限変更時に使用するソフトウェアです。
仮想ドライブツール 「仮想ディスクライブラリ」	（Windows用）　仮想ディスク領域へのデータ転送や本製品を使用するために必要なソフトウェアです。
「メディアオート イジェクトツール」	（Windows用／ Mac OS X用）　パソコン終了時、および本製品を使用中に取り外す時に、自動的にメディアを取り出すための ツールです。
▼以下のソフトウェアは必要に応じてインストールしてください。（CD-ROM内のオンラインマニュアル参照）	
オートバックアップソフト 「EasySaver LE」	（Windows用）　手軽にファイルやフォルダのバックアップ・リストアを行えるソフトウェアです。
データ復旧ソフト 「DataSalvager LE」	（Windows用）　誤って消去したMOメディア内のデータを復旧するソフトウェアです。
完全データ消去ソフト 「DiskRefresher LE for MO」	（Windows用）　MOメディアのデータを完全に消去するソフトウェアです。
SPIS（スパイシス）データ分散化ツール 「e-割符V3」	（Windows XP/2000用）　ファイルを複数の暗号化されたデータに分割（割符を作成）し、それを別々の場所に 保存することにより、ファイルの盗難による被害を防止するセキュリティソフトウェアです。
SPIS（スパイシス）オート暗号化ツール 「暗号フォルダ」	（Windows XP/2000用）　本製品に保存されているファイルに暗号化をおこなうソフトウェアです。
MOシリーズ 「メディアIDサポートソフト」	（Windows用）　本製品でメディアID機能を利用するためのドライバです。 （「暗号フォルダ」を使用する場合は必ずインストールしてください。）

本製品のモード

本製品は通常のUSB MOドライブ（MOモード）として、また、仮想ドライブ（仮想ドライブモード）※としても使用できます。

※仮想ドライブとして使用できるのは、Windowsでお使いになる場合のみです。
※仮想ドライブとは、MOドライブを仮想的なフロッピーディスクドライブ（FDD）、またはCD-ROMドライブにみせかけて、
MOメディア上に保存しておいたデータを仮想的なフロッピーディスク、またはCD-ROMとして取り扱うことができるドライブです。

本製品には、右記の3つのモードがあります。

●MOモード……使い方については、裏面の【MOモードで使う】参照
●仮想FDモード……使い方については、オンラインマニュアル参照
●仮想CDモード……使い方については、オンラインマニュアル参照
⟹ 仮想FDモード、仮想CDモードを総称して［仮想ドライブモード］と呼びます。

		MOモード	仮想ドライブモード	
			仮想FDモード※1	仮想CDモード
各モードについて		通常のUSB MOドライブとして使用することができます。	USB FDDとして振舞います。このモードでは、一般のUSB FDDと同等の機能を提供し、パソコンからも「3.5インチフロッピーディスクドライブ」として認識されます。	USB CD-ROMドライブとして振舞います。このモードでは、一般のUSB CD-ROMドライブと同等の機能を提供し、パソコンからもCD-ROMドライブとして認識されます。
［電源・モードスイッチ］の設定		［ON］または［Auto］	［FD］	［CD］
使用するMOメディアのフォーマット形式		●［スーパーフロッピー形式］または［ハードディスク形式］ 通常のMOメディアとして使用されている形式です。 ●［オートバックアップメディア］ MOメディアを挿入すると自動的にバックアップソフトが起動するフォーマット形式です。	●［仮想フロッピーディスク形式］ MOメディア内に、数十枚～数百枚の仮想的なフロッピーディスク領域を作成しているフォーマット形式です。お持ちのフロッピーディスクの内容を仮想フロッピーディスク領域にコピーして使います。	●［仮想CD-ROM形式］※3 MOメディア内に、数枚の仮想的なCD-ROM領域を作成しているフォーマット形式です。お持ちのCD-ROMの内容を仮想CD-ROM領域にコピーして使います。
フォーマット方法		MOモードで［MOフォーマット］ユーティリティ※2を使って、上記のそれぞれのフォーマット形式でフォーマットします。		
起動用ドライブ		不　可	可※4	不　可
モード確定時のランプ状態	電源ランプ	緑色点灯		
	仮想ドライブモードランプ	消灯	オレンジ色点灯	

※1　Windows 98（SE含む）では、仮想FDDモードではお使いいただけません。
※2　［MOフォーマット］ユーティリティはMOモードでのみ起動できます。
※3　640MB、1.3GB、2.3GBのMOメディアのみ使用可能です。
※4　パソコンのBIOSおよび起動するソフトウェアがUSB FDDからの起動に対応している必要があります。

使用上のご注意

●本製品はパソコンのサスペンド・スタンバイ・スリープなどの省電力モードには対応しておりません
本製品をサスペンド・スタンバイ・スリープなどの省電力モードへ移行する環境で使用する場合、省電力モードの設定は無効にしてお使いください。本製品を接続中にそれらのモードになった場合は、復帰後いったん本製品をUSBポートから抜き、再度接続してください。

●本製品からのOS起動はサポートされておりません
パソコン本体の電源を入れる前にメディアを挿入しないでください。

●本製品を長時間、連続で使用しないでください
本製品内部は書き込み時、かなりの高温になります。
そのため、長時間、連続でMOメディアのフォーマットや書き込みを行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切りしばらく放置して冷やしてください。
その後、中断された処理を再度行ってください。

●本製品内部のクリーニングについて
空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。

推奨クリーニングキット

「Head CLEANER No.0240470」
（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒105-0011 東京都港区芝公園4丁目1番4号（メゾニック38MTビル1F）
電話/FAX　03-6430-2040/03-6430-2074
インターネット　http://www.coworco.fujitsu.com/

※弊社では、左記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作保証は行っておらず、本製品に対してお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合がありますのでご注意ください。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意してください
●本製品の転送速度が遅くなることがあります。
●本製品をUSBハブに接続して使用できないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しないでください
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●ケーブルは、コネクタを持って取り外してください

●640MB以上のMOメディアは圧縮ドライブとして使用できません

●MOメディアの使用について
●MOメディア内部に直接触れないでください。MOメディアが故障する原因となります。
●MOメディアのシャッターにラベルを貼らないでください。
本製品、MOメディアが故障する原因となります。
●ラベルを2重3重に重ねて貼らないでください。
本製品内部でラベルがはがれ、本製品が故障する原因となります。
●MOメディアへアクセス中は絶対にイジェクトや本製品の取り外し、パソコンのリセットや電源を切ったりしないでください。記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOメディアが傷つき、使用不可能になる場合があります。
●MOメディアへアクセス中に、そのMOメディアに対して別の読み書き作業を行わないでください。
●MOメディアの金属シャッター部分を持たないでください。
人体に溜まった静電気が本製品内部に放電され、本製品が故障する原因となります。
●誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することはできません。記録されたデータやプログラムファイルはあらかじめバックアップをとるようにしてください。

●MOメディアにWindowsの「ディスクコピー」を使用しないでください
Windowsの「ディスクコピー」は、MOメディアには対応していません。使用すると、エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動作しなくなります。

●NTFS形式でフォーマットされたMOメディアは使用できません

●UNIXファイルシステム形式でフォーマットされたMOメディアは使用できません

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① **弊社ホームページでサポート情報をご確認ください。**
製品Q&A、Newsなど　**http://www.iodata.jp/support/**
最新サポートソフト　**http://www.iodata.jp/lib/**

② **それでも解決しない場合はサポートへ**
住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第２ビル 株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3688**　東京…**03-3254-1095**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について
1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のサポートソフトのバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、
以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●製品名、シリアル番号(S/N)、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください
シリアル番号（S/N）は製品に貼付されたシールに記載されています。

●これらを用意してください
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたもの
・返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］
・日中に連絡可能な電話番号
・使用環境（機器構成、OSなど）
・故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

商標について
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Apple、Macintosh、Powerbook、iMac、iBook、FireWire、Power Mac、Mac、Mac OS、Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
●「e-割符V3」は、グローバルフレンドシップ株式会社の「電子割符™」を使用しています。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2005.09.09 発行